



館長だより

山形県産業科学館

令和 7 年 1 月 5 日 (日)

発行 館長 加藤 智 一

あなたにとって

「気候変動対策」はどのようなものですか？

日本と世界の意識のズレ

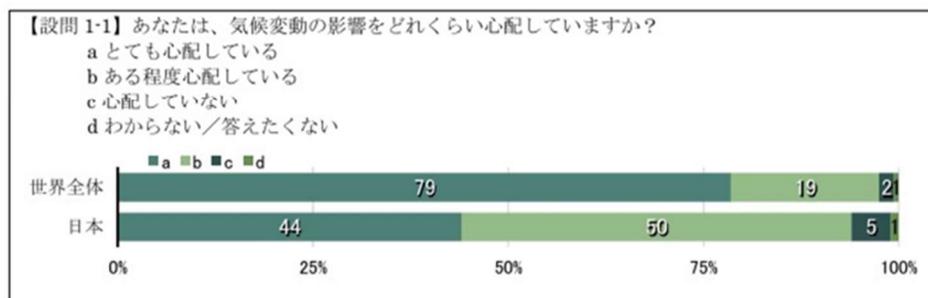
2015. 6 実施 世界市民会議より

世界全体と日本大会の結果

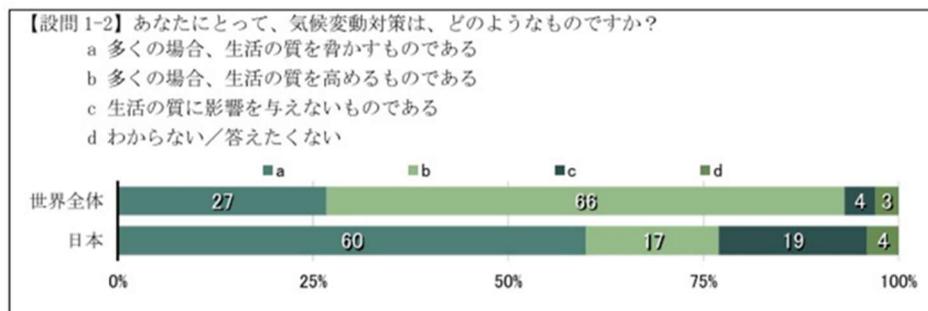
投票結果は、各国大会からデンマーク技術委員会にすぐに提出され、会議の翌日には World Wide Views のホームページ (<http://climateandenergy.wvviews.org/results>) により公表された。主な投票結果について以下示す。

【主な投票結果】

①気候変動の影響について、日本市民は世界市民と比較すると「とても心配している」という割合が顕著に低い。



②世界市民の多くは先進国を含め気候変動対策により「生活の質が高まる」と認識しているが、日本市民の多くは「生活の質が脅かされる」と認識している。



上のグラフを見てどうお感じになりますか？一言で言えば、日本人は、気候変動対策を「我慢」だと思っているのに対して、世界の多くの人々は、「生活の質を高めるもの」だと思っている。この意識の差はどこから来るのでしょうか。

日本人は「我慢」の先に幸せが待っていると思っているのか？教育的価値観の違いなのか？歴史観から来るものなのか？おそらく、視線の先が違うところを見ているからなのでしょうね（個人的な意見ですが）。日本人の多くは目的が達成されるまでの過程を重視しているのに対して、世界の多くの人たちは、目的が達成された後の事を考えているという事だと思います。ですので私も、世界の多くの人たちに習って、「気候変動対策は、私たちの暮らしを豊かにす

る」という目的達成後の世界観で気候変動対策の影響を考察してみたいと思います。

1 健康の改善

気候変動対策により、空気の質が改善されることで、呼吸器疾患や心臓病などの健康問題が減り、温暖化による熱波のリスクも軽減されて、暑さによる健康被害も減少するに違いありません。

2 経済の活性化

再生可能エネルギーや環境に配慮した技術の導入により、新たな産業や雇用が生まれ、これにより地域経済が活性化し、持続可能な成長が期待できます。

3 環境の保護

自然環境を保護することで、生態系の多様性が維持されます。これは、農業や漁業などの生産活動にも直接的な利益をもたらす、長期的な食糧安全保障にも寄与します。

4 生活の質の向上

緑地や公園の増加により、都市環境が改善され、人々が快適に過ごせる空間が増えます。また、エネルギー効率の高い住宅や交通手段の普及により、生活費の削減にもつながることでしょう。

どうですか、視点を変えてみれば、同じ事をするにしても向かうべき未来が希望に溢れた輝かしい世界に思えてきませんか。

少し前まで私たちは、「化石燃料が枯渇する」ことを心配していました。しかしこれからの私たちは、「たくさん余っているのに使うのをやめる」ことを目指さなければなりません（そうしないと、パリ協定の目標を達成できない）。

Yamani 元サウジアラビア石油相曰く、「石器時代が終わったのは、石がなくなったからではない」のです。